

# 創立百周年記念式典

平成12年10月24日に決定



遙かに青葉山を望み、手前広瀬川右に宮城県美術館と山紫水明に恵まれた母校遠景

## 同窓会報

第32号

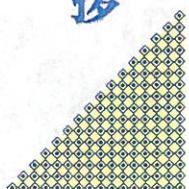
発行 宮城県仙台第二高等学校  
同窓会事務局  
仙台市青葉区川内瀬橋通一  
☎ 二二一一五五五一(直通)  
印刷 創文印刷出版株式会社  
仙台市青葉区大手町六番二号



仙台二高同窓会長

堀田 康哉

## 中間報告のご挨拶



思えば「中・二高創立百周年の大きな節目の記念事業の準備は平成六年に開始致しました。何せ大所帯ではあります、早いものでこれまで試行錯誤を繰り返しながら、いよいよ終盤を迎えるに到達して参りました。ここで、これまでの同窓関係各位の素晴らしいご協力によるものと心から感謝申し上げます。又、文字通りもう一息というところ。重ねてとくとよろしくお願ひ申し上げる次第です。

「電車 今頃 大宮あたり  
実りたわわの 秋さなか」  
歌の文句に「一山 二山  
三山越え」というのがござりますが、今回は当面対応する「胸突き八丁」とは、そしてその中味とは百周年の歴史を誇る母校、仙台二高の同窓会体力を以てすればこの山越え

も手弁当用意のHiKing-Styleで十分可能な守備範囲にあると存じます。  
手ぶらで結構です。やがて山頂に達し。（勿論高山登攀専門用具等は一切必要ありません 為念）。  
次いで、調整徐行運転の電車で一服しながら終点、東京駅に定刻安着というのが今回百周年記念事業完了像であり、大綱です。  
重ねて何卒よろしくお願ひ申し上げます。  
現在母校のカリキュラムには全学あげての心身鍛錬の栗駒登山があります。職員、学生に大変人気のある『Event』のようです。この際これにあやかり同窓会も「全員参加」頂ければと念じておるところですが、如何なものでしょ

## 会報によせて



校長渡邊義之

鳴く虫の音にも、秋の深まりが感じられ、紅葉の便りも伝えられる季節を迎えました。が、同窓生諸氏におかれましては、皆様益々の御健勝のことと心からお喜び申し上げます。また来年の本校創立百周年の諸事業に対し、同窓生ならではの、熱い思いと温かい御支援を賜っておりまこと、実に感謝に堪えず衷心より御礼申し上げます。私は本校二年目になりますが、出席させていただきました同窓会の各支部総会において諸先輩方の母校に対する強い思いと期待の大きさに校長として身の引きしまる思いを常に抱きながら職責の重さと、自らのいたらしさを感じているところであります。私自身きわめて微力ではございますが、諸先輩方々の思いを大切にし、本県屈指の

英才を集め本校の教育指導に全力を傾注し、仙台二高が二十一世紀の扇を雄々しく、しかも前途に光明を見い出し、ながら聞く努力をしてゆく所存ですので、今後も多方面にわたる御支援・御指導をお願い申し上げます。

さて、先輩諸兄御存知の通り、本校は来年百周年を迎えるようとしており、現在その為の諸準備を堀田記念事業実行委員長さんのもとで進めているところでございます。記念事業と致しましては既に本校グランド側の桜の植栽と、自習室への冷房装置のとりつけ、さらには蔵王遭難の碑の建立等を実施しておりますが、当該年度の事業と致しましては、先輩方の御支援による北陵会館の改築、そして記念式典と記念祝賀会を来年十

シンボシウムの開催を企画し  
その準備にあたっているところ  
でございます。来年の百周年  
年は諸先輩方の御力添えを頂  
き、仙台一高ここにありとい  
う姿をお見せできるのではと  
大きな期待を持っております。  
どうか來たるべき記念式典に  
は多くの先輩方の御臨席を心  
よりお願い申し上げます。

一世纪の 我国を研究に推す  
行ける若者であると断言できます。

典では本校の先輩で海洋地質学の第一人者でいらっしゃる平東京大学教授の講演をお願いしております。

にかの思い出や少しばかりの激励になればと思っておりま  
す。十月には全員との面接を終えられるのではと思ひます。  
面接してみまして、本校生は  
実に素直で、実に思いやりのある生徒たちだと改めていい  
生徒の校長であることの喜びを感じて いるところです。彼  
らは必ずや先輩諸兄同様二十

ぶりで仙台一高野球部の存在をアピール致しました。またテニス部が新人戦準優勝、軟式野球部が新人戦優勝と、部活動でもある程度の成果をあげてくれております。これから各部の新人大会のはずみになればと願っております。

私が日頃本校生に話しておりますことは、人間的にも、



# 百周年記念事業経過報告

各専門委員会より

本年度の活動報告

式典委員会委員長 池田明郎

四月十九日に、校内式典委員会を開催し、百周年記念式典、祝賀会の原案を作成することができ、校内の委員会の役割であることを確認した。

(三) 記念式典会場である星民会館からの移動方法についての提案及び祝賀会終了時の雨天の場合の対策、(四) 祝賀会内容の企画提案、(五)

七月十五日、総務委員会が開催され、式典委員会の原案

出席される方の名簿作成などの  
作業を継続中です。

新しいスタイルの記念誌を目指し、ビジュアルな読み易い内容にする。

場である県民会館に近い」といふことで、「仙台プラザ」に  
お願いしてはどうかというこ  
とになり、次回の総務委員会  
にご提案申し上げることになつ  
た。

が了承され、祝賀会の会場を「仙台プラザ」にお願いすることになった。「勝山館」には大変協力をしていただき感謝いたします。

(ウ) 八十年(昭和五十五年)  
以降は、新校舎の建設、  
創立九十周年記念事業、  
改正実施の教育課程等を  
柱にして記述する。

【3】 平成11年11月20日

回 会 總

第 32 号

五月三十一日、総務委員会で、祝賀会の会場を決めるにあたり、「勝山館」と「仙台プラザ」の二社に絞り込むことで了承され、次回の総務委員会まで叩き台を式典委員会が作成してくることになった。六月九日に、総務委員会の意向を受けて、式典委員会委員の高橋（同窓会側）と池田（学校側）の二名が、勝山館と仙台プラザの二社に、創立百周年記念祝賀会の企画書の提出をお願いしに伺った。その際、次の七点、（一）母校との関係、（二）経費見積り、

の対応、(六) 駐車可能台数、(七) 貴会場にお願いした場合のメリットに留意してほしい旨お願いし、六月下旬両社から、百周年祝賀会にふさわしい心のこもった素晴らしい企画書を提出していただいた。

七月六日、両社の企画書の提出を受けて、拡大記念式典委員会（学校・PTA・同窓会の三者による）を開き、祝賀会の会場を一社に絞り込む作業に入り、両社の企画書は甲乙つけがたく我々委員も大変悩んだが、学校及び式典会

明治三十三年（一九〇〇）  
宮城県第二中学校として創設された本校は、新入学した一年生二百十名に宮城県尋常中学校（第一中学校）分校の五年生一二五名を受け入れて発足した。  
爾来、二四、五三九名の卒業生を輩出してきたが、この間仙台二中・二高の校史としては、創立六十周年記念時に写真を中心とした小冊子が作られ、八十周年時には『仙台二

高八十年のあゆみ』という凡そ三百頁にわたる労作が刊行された。これらを受けて百年史委員会では、記念誌の刊行にあたって次のような編集方針を確認した。

(ア)『八十年のあゆみ』の編集方針を踏襲しつつ、その後の二十年を書き加える。

(イ)『八十年のあゆみ』を見直し、補遺、増補する。

本文編の大目次は『八十年のあゆみ』に加除修正を加えて、

一 草創期	二 明治期
三 大正期	四 昭和前期
五 戦時下期	六 戦後復興期
八 昭和から平成へ	七 昭和中期
九 現況・その他	
十 定期戦	十一 同窓会
とした。特に定期戦・同窓会の章については内容のいっ	
その充実を期しており、同窓会各位の指導助言・資料の提	

供を鶴首して待つ昨今である。

青葉区川内瀬橋通一

あて先

〒九八〇一八六三一

## 会員名簿住所探索進む

百周年名簿委員会委員長

高 橋 正 道

百周年名簿委員会は来年九月発行予定の記念名簿の編集に精力的に取り組んでいます。仙台二中1回から47回まで、仙台二高1回から52回(平成十二年卒)までの名簿である。

同窓会名簿は十年に一度発行されているが、その間の会員個人の状況変化が激しく、不明者が多いのが実態で、もとも重複的に行っている作業は住所不明の探索である。今回は各回期の名簿委員の献身的なご協力をいただき、一度に亘ってチェックをお願いし、又、昨年秋、同窓会報発送に併せて同封した住所確認の手がきの返信分で訂正が行われ、不明者を相当減らすことができた。今後も探索は引き続き行っていくことになる。今回調査の結果、高齢者に物故者が増加していることと、探索が可能者と探索不可能者の分類

を行ったことで、探索可能者の不明者一覧を作成することができますので、同窓会会報に別冊で掲載して、全会員から情報提供により一人でも多く正確な住所を掲載し、住所空欄を少なくしたいと願っています。体裁、広告掲載など編集の細部については並行して検討がおこなわれているが、百年記念にふさわしい名簿に仕上げていきたい。

尚、名簿管理は同窓会事務所と今回の出版担当の笛気出版印刷が名簿データを共有し連絡を密にして行っている。なにしろ二万数千名の管理なので、コンピューターによる管理を軌道にのせていかなければならぬが、今後名簿に関する連絡、問い合わせは、会員番号の明記が不可欠要因になってきていている。

発行予定は十二年九月。予

約販売の予定。販売価格は検討中。

## 百周年記念行事かたまる

記念行事委員会委員長 横 山 文 彦

記念事業として何を催すか、

(高39回 ベルギー在住)  
ガウデアムス国際現代音楽

コンクールで三位入賞。現代音楽の指揮をしたり、オーケストラと共に演したりして御活躍中。

○ギタリスト 富川勝智氏  
(高37回 スペイン在住)  
学生ギターコンクール第一位受賞。スペインに留学。現在までスペイン、ドイツ、日本各地にてコンサートを行い、御活躍中。

平成十二年九月十四日(木)  
一、日 時

二、会 場

宮城県民会館

三、対 象  
生徒・OBの方々・PTA  
他一般

四、記念行事

①コンサート

十三時～十五時

海外で活躍されている本校

②シンポジウム

十五時半～十七時半

OBの指揮者ならびにソリストと仙台フィルハーモニーとの共演。

◇指揮者 佐藤俊太郎氏  
(高39回 英国在住)

名門のイギリス室内管弦楽団(BCO)の常任指揮者として国際舞台で御活躍中。

◇パネリスト 西澤潤一氏  
(中44回 現岩手県立大学学長)

「二十一世紀の日本……  
・人づくり・国際化・科学技術」

の講演。

◇ソリスト ○ピアニスト 中川賢一氏  
(高18回 現宮城県知事)

◇コーディネーター  
佐藤隆輔氏  
(高5回 元NHKアナウンサー)

※その他各方面で活躍されている著名なOBの方々にパネリストとして参加交渉中。

計

報



● 岩渕 日出雄 (中45回卒)	● 山川 (中31回卒)
● 大場 健 (中46回卒)	● 森谷 吉二 (中33回卒)
● 片倉 五郎 (高2回卒)	● 木村 養一郎 (中34回卒)
● 井上 秀夫 (高3回卒)	● 佐々木正歩 (中41回卒)
● 高橋 弘一 (中43回卒)	● 須田 正紀 (中41回卒)
● 菅原 健 (中44回卒)	● 遠藤辰一郎 (中37回卒)
● 大石 坦 (中38回卒)	● 大石 坦 (中38回卒)
● 佐々木正歩 (中41回卒)	● 森谷 吉二 (中33回卒)
● 須田 正紀 (中41回卒)	● 木村 養一郎 (中34回卒)
● 高橋 弘一 (中43回卒)	● 佐々木正歩 (中41回卒)
● 菅原 健 (中44回卒)	● 遠藤辰一郎 (中37回卒)
● 井上 秀夫 (高3回卒)	● 大石 坦 (中38回卒)
● 片倉 五郎 (高2回卒)	● 森谷 吉二 (中33回卒)
● 井上 秀夫 (高3回卒)	● 木村 養一郎 (中34回卒)
● 井上 秀夫 (高3回卒)	● 佐々木正歩 (中41回卒)
● 片倉 五郎 (高2回卒)	● 遠藤辰一郎 (中37回卒)
● 井上 秀夫 (高3回卒)	● 大石 坦 (中38回卒)
● 片倉 五郎 (高2回卒)	● 森谷 吉二 (中33回卒)
● 井上 秀夫 (高3回卒)	● 木村 養一郎 (中34回卒)
● 井上 秀夫 (高3回卒)	● 佐々木正歩 (中41回卒)
● 片倉 五郎 (高2回卒)	● 遠藤辰一郎 (中37回卒)
● 井上 秀夫 (高3回卒)	● 大石 坦 (中38回卒)
● 片倉 五郎 (高2回卒)	● 森谷 吉二 (中33回卒)
● 井上 秀夫 (高3回卒)	● 木村 養一郎 (中34回卒)
● 井上 秀夫 (高3回卒)	● 佐々木正歩 (中41回卒)
● 片倉 五郎 (高2回卒)	● 遠藤辰一郎 (中37回卒)
● 井上 秀夫 (高3回卒)	● 大石 坦 (中38回卒)
● 片倉 五郎 (高2回卒)	● 森谷 吉二 (中33回卒)
● 井上 秀夫 (高3回卒)	● 木村 養一郎 (中34回卒)
● 井上 秀夫 (高3回卒)	● 佐々木正歩 (中41回卒)
● 片倉 五郎 (高2回卒)	● 遠藤辰一郎 (中37回卒)
● 井上 秀夫 (高3回卒)	● 大石 坦 (中38回卒)
● 片倉 五郎 (高2回卒)	● 森谷 吉二 (中33回卒)
● 井上 秀夫 (高3回卒)	● 木村 養一郎 (中34回卒)
● 井上 秀夫 (高3回卒)	● 佐々木正歩 (中41回卒)
● 片倉 五郎 (高2回卒)	● 遠藤辰一郎 (中37回卒)
● 井上 秀夫 (高3回卒)	● 大石 坦 (中38回卒)
● 片倉 五郎 (高2回卒)	● 森谷 吉二 (中33回卒)
● 井上 秀夫 (高3回卒)	● 木村 養一郎 (中34回卒)
● 井上 秀夫 (高3回卒)	● 佐々木正歩 (中41回卒)
● 片倉 五郎 (高2回卒)	● 遠藤辰一郎 (中37回卒)
● 井上 秀夫 (高3回卒)	● 大石 坦 (中38回卒)
● 片倉 五郎 (高2回卒)	● 森谷 吉二 (中33回卒)
● 井上 秀夫 (高3回卒)	● 木村 養一郎 (中34回卒)
● 井上 秀夫 (高3回卒)	● 佐々木正歩 (中41回卒)
● 片倉 五郎 (高2回卒)	● 遠藤辰一郎 (中37回卒)
● 井上 秀夫 (高3回卒)	● 大石 坦 (中38回卒)
● 片倉 五郎 (高2回卒)	● 森谷 吉二 (中33回卒)
● 井上 秀夫 (高3回卒)	● 木村 養一郎 (中34回卒)
● 井上 秀夫 (高3回卒)	● 佐々木正歩 (中41回卒)
● 片倉 五郎 (高2回卒)	● 遠藤辰一郎 (中37回卒)
● 井上 秀夫 (高3回卒)	● 大石 坦 (中38回卒)
● 片倉 五郎 (高2回卒)	● 森谷 吉二 (中33回卒)
● 井上 秀夫 (高3回卒)	● 木村 養一郎 (中34回卒)
● 井上 秀夫 (高3回卒)	● 佐々木正歩 (中41回卒)
● 片倉 五郎 (高2回卒)	● 遠藤辰一郎 (中37回卒)
● 井上 秀夫 (高3回卒)	● 大石 坦 (中38回卒)
● 片倉 五郎 (高2回卒)	● 森谷 吉二 (中33回卒)
● 井上 秀夫 (高3回卒)	● 木村 養一郎 (中34回卒)
● 井上 秀夫 (高3回卒)	● 佐々木正歩 (中41回卒)
● 片倉 五郎 (高2回卒)	● 遠藤辰一郎 (中37回卒)
● 井上 秀夫 (高3回卒)	● 大石 坦 (中38回卒)
● 片倉 五郎 (高2回卒)	● 森谷 吉二 (中33回卒)
● 井上 秀夫 (高3回卒)	● 木村 養一郎 (中34回卒)
● 井上 秀夫 (高3回卒)	● 佐々木正歩 (中41回卒)
● 片倉 五郎 (高2回卒)	● 遠藤辰一郎 (中37回卒)
● 井上 秀夫 (高3回卒)	● 大石 坦 (中38回卒)
● 片倉 五郎 (高2回卒)	● 森谷 吉二 (中33回卒)
● 井上 秀夫 (高3回卒)	● 木村 養一郎 (中34回卒)
● 井上 秀夫 (高3回卒)	● 佐々木正歩 (中41回卒)
● 片倉 五郎 (高2回卒)	● 遠藤辰一郎 (中37回卒)
● 井上 秀夫 (高3回卒)	● 大石 坦 (中38回卒)
● 片倉 五郎 (高2回卒)	● 森谷 吉二 (中33回卒)
● 井上 秀夫 (高3回卒)	● 木村 養一郎 (中34回卒)
● 井上 秀夫 (高3回卒)	● 佐々木正歩 (中41回卒)
● 片倉 五郎 (高2回卒)	● 遠藤辰一郎 (中37回卒)
● 井上 秀夫 (高3回卒)	● 大石 坦 (中38回卒)
● 片倉 五郎 (高2回卒)	● 森谷 吉二 (中33回卒)
● 井上 秀夫 (高3回卒)	● 木村 養一郎 (中34回卒)
● 井上 秀夫 (高3回卒)	● 佐々木正歩 (中41回卒)
● 片倉 五郎 (高2回卒)	● 遠藤辰一郎 (中37回卒)
● 井上 秀夫 (高3回卒)	● 大石 坦 (中38回卒)
● 片倉 五郎 (高2回卒)	● 森谷 吉二 (中33回卒)
● 井上 秀夫 (高3回卒)	● 木村 養一郎 (中34回卒)
● 井上 秀夫 (高3回卒)	● 佐々木正歩 (中41回卒)
● 片倉 五郎 (高2回卒)	● 遠藤辰一郎 (中37回卒)
● 井上 秀夫 (高3回卒)	● 大石 坦 (中38回卒)
● 片倉 五郎 (高2回卒)	● 森谷 吉二 (中33回卒)
● 井上 秀夫 (高3回卒)	● 木村 養一郎 (中34回卒)
● 井上 秀夫 (高3回卒)	● 佐々木正歩 (中41回卒)
● 片倉 五郎 (高2回卒)	● 遠藤辰一郎 (中37回卒)
● 井上 秀夫 (高3回卒)	● 大石 坦 (中38回卒)
● 片倉 五郎 (高2回卒)	● 森谷 吉二 (中33回卒)
● 井上 秀夫 (高3回卒)	● 木村 養一郎 (中34回卒)
● 井上 秀夫 (高3回卒)	● 佐々木正歩 (中41回卒)
● 片倉 五郎 (高2回卒)	● 遠藤辰一郎 (中37回卒)
● 井上 秀夫 (高3回卒)	● 大石 坦 (中38回卒)
● 片倉 五郎 (高2回卒)	● 森谷 吉二 (中33回卒)
● 井上 秀夫 (高3回卒)	● 木村 養一郎 (中34回卒)
● 井上 秀夫 (高3回卒)	● 佐々木正歩 (中41回卒)
● 片倉 五郎 (高2回卒)	● 遠藤辰一郎 (中37回卒)
● 井上 秀夫 (高3回卒)	● 大石 坦 (中38回卒)
● 片倉 五郎 (高2回卒)	● 森谷 吉二 (中33回卒)
● 井上 秀夫 (高3回卒)	● 木村 養一郎 (中34回卒)
● 井上 秀夫 (高3回卒)	● 佐々木正歩 (中41回卒)
● 片倉 五郎 (高2回卒)	● 遠藤辰一郎 (中37回卒)
● 井上 秀夫 (高3回卒)	● 大石 坦 (中38回卒)
● 片倉 五郎 (高2回卒)	● 森谷 吉二 (中33回卒)
● 井上 秀夫 (高3回卒)	● 木村 養一郎 (中34回卒)
● 井上 秀夫 (高3回卒)	● 佐々木正歩 (中41回卒)
● 片倉 五郎 (高2回卒)	● 遠藤辰一郎 (中37回卒)
● 井上 秀夫 (高3回卒)	● 大石 坦 (中38回卒)
● 片倉 五郎 (高2回卒)	● 森谷 吉二 (中33回卒)
● 井上 秀夫 (高3回卒)	● 木村 養一郎 (中34回卒)
● 井上 秀夫 (高3回卒)	● 佐々木正歩 (中41回卒)
● 片倉 五郎 (高2回卒)	● 遠藤辰一郎 (中37回卒)
● 井上 秀夫 (高3回卒)	● 大石 坦 (中38回卒)
● 片倉 五郎 (高2回卒)	● 森谷 吉二 (中33回卒)
● 井上 秀夫 (高3回卒)	● 木村 養一郎 (中34回卒)
● 井上 秀夫 (高3回卒)	● 佐々木正歩 (中41回卒)
● 片倉 五郎 (高2回卒)	● 遠藤辰一郎 (中37回卒)
● 井上 秀夫 (高3回卒)	● 大石 坦 (中38回卒)
● 片倉 五郎 (高2回卒)	● 森谷 吉二 (中33回卒)
● 井上 秀夫 (高3回卒)	● 木村 養一郎 (中34回卒)
● 井上 秀夫 (高3回卒)	● 佐々木正歩 (中41回卒)
● 片倉 五郎 (高2回卒)	● 遠藤辰一郎 (中37回卒)
● 井上 秀夫 (高3回卒)	● 大石 坦 (中38回卒)
● 片倉 五郎 (高2回卒)	● 森谷 吉二 (中33回卒)
● 井上 秀夫 (高3回卒)	● 木村 養一郎 (中34回卒)
● 井上 秀夫 (高3回卒)	● 佐々木正歩 (中41回卒)
● 片倉 五郎 (高2回卒)	● 遠藤辰一郎 (中37回卒)
● 井上 秀夫 (高3回卒)	● 大石 坦 (中38回卒)
● 片倉 五郎 (高2回卒)	● 森谷 吉二 (中33回卒)
● 井上 秀夫 (高3回卒)	● 木村 養一郎 (中34回卒)
● 井上 秀夫 (高3回卒)	● 佐々木正歩 (中41回卒)
● 片倉 五郎 (高2回卒)	● 遠藤辰一郎 (中37回卒)
● 井上 秀夫 (高3回卒)	● 大石 坦 (中38回卒)
● 片倉 五郎 (高2回卒)	● 森谷 吉二 (中33回卒)
● 井上 秀夫 (高3回卒)	● 木村 養一郎 (中34回卒)
● 井上 秀夫 (高3回卒)	● 佐々木正歩 (中41回卒)
● 片倉 五郎 (高2回卒)	● 遠藤辰一郎 (中37回卒)
● 井上 秀夫 (高3回卒)	● 大石 坦 (中38回卒)
● 片倉 五郎 (高2回卒)	● 森谷 吉二 (中33回卒)
● 井上 秀夫 (高3回卒)	● 木村 養一郎 (中34回卒)
● 井上 秀夫 (高3回卒)	● 佐々木正歩 (中41回卒)
● 片倉 五郎 (高2回卒)	● 遠藤辰一郎 (中37回卒)
● 井上 秀夫 (高3回卒)	● 大石 坦 (中38回卒)
● 片倉 五郎 (高2回卒)	● 森谷 吉二 (中33回卒)
● 井上 秀夫 (高3回卒)	● 木村 養一郎 (中34回卒)
● 井上 秀夫 (高3回卒)	● 佐々木正歩 (中41回卒)
● 片倉 五郎 (高2回卒)	● 遠藤辰一郎 (中37回卒)
● 井上 秀夫 (高3回卒)	● 大石 坦 (中38回卒)
● 片倉 五郎 (高2回卒)	● 森谷 吉二 (中33回卒)
● 井上 秀夫 (高3回卒)	● 木村 養一郎 (中34回卒)
● 井上 秀夫 (高3回卒)	● 佐々木正歩 (中41回卒)
● 片倉 五郎 (高2回卒)	● 遠藤辰一郎 (中37回卒)
● 井上 秀夫 (高3回卒)	● 大石 坦 (中38回卒)
● 片倉 五郎 (高2回卒)	● 森谷 吉二 (中33回卒)
● 井上 秀夫 (高3回卒)	● 木村 養一郎 (中34回卒)
● 井上 秀夫 (高3回卒)	● 佐々木正歩 (中41回卒)
● 片倉 五郎 (高2回卒)	● 遠藤辰一郎 (中37回卒)
● 井上 秀夫 (高3回卒)	● 大石 坦 (中38回卒)
● 片倉 五郎 (高2回卒)	● 森谷 吉二 (中33回卒)
● 井上 秀夫 (高3回卒)	● 木村 養一郎 (中34回卒)
● 井上 秀夫 (高3回卒)	● 佐々木正歩 (中41回卒)
● 片倉 五郎 (高2回卒)	● 遠藤辰一郎 (中37回卒)
● 井上 秀夫 (高3回卒)	● 大石 坦 (中38回卒)
● 片倉 五郎 (高2回卒)	● 森谷 吉二 (中33回卒)
● 井上 秀夫 (高3回卒)	● 木村 養一郎 (中34回卒)
● 井上 秀夫 (高3回卒)	● 佐々木正歩 (中41回卒)
● 片倉 五郎 (高2回卒)	● 遠藤辰一郎 (中37回卒)
● 井上 秀夫 (高3回卒)	● 大石 坦 (中38回卒)
● 片倉 五郎 (高2回卒)	● 森谷 吉二 (中33回卒)
● 井上 秀夫 (高3回卒)	● 木村 養一郎 (中34回卒)
● 井上 秀夫 (高3回卒)	● 佐々木正歩 (中41回卒)
● 片倉 五郎 (高2回卒)	● 遠藤辰一郎 (中37回卒)
● 井上 秀夫 (高3回卒)	● 大石 坦 (中38回卒)
● 片倉 五郎 (高2回卒)	● 森谷 吉二 (中33回卒)
● 井上 秀夫 (高3回卒)	● 木村 養一郎 (中34回卒)
● 井上 秀夫 (高3回卒)	● 佐々木正歩 (中41回卒)
● 片倉 五郎 (高2回卒)	● 遠藤辰一郎 (中37回卒)
● 井上 秀夫 (高3回卒)	● 大石 坦 (中38回卒)
● 片倉 五郎 (高2回卒)	● 森谷 吉二 (中33回卒)
● 井上 秀夫 (高3回卒)	● 木村 養一郎 (中34回卒)
● 井上 秀夫 (高3回卒)	● 佐々木正歩 (中41回卒)
● 片倉 五郎 (高2回卒)	● 遠藤辰一郎 (中37回卒)
● 井上 秀夫 (高3回卒)	● 大石 坦 (中38回卒)
● 片倉 五郎 (高2回卒)	● 森谷 吉二 (中33回卒)
● 井上 秀夫 (高3回卒)	● 木村 養一郎 (中34回卒)
● 井上 秀夫 (高3回卒)	● 佐々木正歩 (中41回卒)
● 片倉 五郎 (高2回卒)	● 遠藤辰一郎 (中37回卒)
● 井上 秀夫 (高3回卒)	● 大石 坦 (中38回卒)
● 片倉 五郎 (高2回卒)	● 森谷 吉二 (中33回卒)
● 井上 秀夫 (高3回卒)	● 木村 養一郎 (中34回卒)
● 井上 秀夫 (高3回卒)	● 佐々木正歩 (中41回卒)
● 片倉 五郎 (高2回卒)	● 遠藤辰一郎 (中37回卒)
● 井上 秀夫 (高3回卒)	● 大石 坦 (中38回卒)
● 片倉 五郎 (高2回卒)	● 森谷 吉二 (中33回卒)
● 井上 秀夫 (高3回卒)	● 木村 養一郎 (中34回卒)
● 井上 秀夫 (高3回卒)	● 佐々木正歩 (中41回卒)
● 片倉 五郎 (高2回卒)	● 遠藤辰一郎 (中37回卒)
● 井上 秀夫 (高3回卒)	● 大石 坦 (中38回卒)
● 片倉 五郎 (高2回卒)	● 森谷 吉二 (中33回卒)
● 井上 秀夫 (高3回卒)	● 木村 養一郎 (中34回卒)
● 井上 秀夫 (高3回卒)	● 佐々木正歩 (中41回卒)
● 片倉 五郎 (高2回卒)	● 遠藤辰一郎 (中37回卒)
● 井上 秀夫 (高3回卒)	● 大石 坦 (中38回卒)
● 片倉 五郎 (高2回卒)	● 森谷 吉二 (中33回卒)
● 井上 秀夫 (高3回卒)	● 木村 養一郎 (中34回卒)
● 井上 秀夫 (高3回卒)	● 佐々木正歩 (中41回卒)
● 片倉 五郎 (高2回卒)	● 遠藤辰一郎 (中37回卒)
● 井上 秀夫 (高3回卒)	● 大石 坦 (中38回卒)
● 片倉 五郎 (高2回卒)	● 森谷 吉二 (中33回卒)
● 井上 秀夫 (高3回卒)	● 木村 養一郎 (中34回卒)
● 井上 秀夫 (高3回卒)	● 佐々木正歩 (中41回卒)
● 片倉 五郎 (高2回卒)	● 遠藤辰一郎 (中37回卒)
● 井上 秀夫 (高3回卒)	● 大石 坦 (中38回卒)
● 片倉 五郎 (高2回卒)	● 森谷 吉二 (中33回卒)
● 井上 秀夫 (高3回卒)	● 木村 養一郎 (中34回卒)
● 井上 秀夫 (高3回卒)	● 佐々木正歩 (中41回卒)
● 片倉 五郎 (高2回卒)	● 遠藤辰一郎 (中37回卒

## 百周年記念事業募金ご協力ありがとうございました！

平成11年9月末現在で、89,837千円になりました。ご協力をいただきました1,985名の同窓会の方々とその協力法人36先、そしてご賛同いただきました8協賛先の各位に対し、厚くお礼申し上げます。

### 創立100周年記念事業募金集計表

(平成11年9月30日現在)

区分	合計 (A+B)	郵便局振込(A)		うち 中卒		うち 高卒		うち 協賛先		現金振込(A)		うち 中卒		うち 高卒		うち 協賛先	
		口数	入金額	口数	入金額	口数	入金額	口数	入金額	口数	入金額	口数	入金額	口数	入金額	口数	入金額
会員	(1,985名) 2,170口 77,847,730	2,154	70,529,730	587	23,013,730	1,567	47,516,000	0	0	16	7,318,000	11	6,750,000	5	568,000	0	0
法人	(36先) 40口 5,060,000	37	2,960,000	3	140,000	34	2,820,000	0	0	3	2,100,000	2	2,000,000	1	100,000	0	0
協賛先	(8先) 8口 6,930,000	7	1,930,000	0	0	0	0	7	1,930,000	1	5,000,000	0	0	0	0	1	5,000,000
計	(2,029先) 2,218口 89,837,730	2,198	75,419,730	590	23,153,730	1,601	50,336,000	7	1,930,000	20	14,418,000	13	8,750,000	6	668,000	1	5,000,000
支 手 手数料	240,840																
寄付金 残高	89,596,890																
預 金 利 息	9,093																
残 高 合 計	89,605,983																

### 創立100周年記念募金回期毎集計表

(平成11年3月31日現在)

回期	件数	納入合計	回期	件数	納入合計	回期	件数	納入合計
中27	1	¥100,000	高05	60	¥1,850,000	高29	8	¥152,000
中28	1	¥30,000	高06	89	¥3,783,000	高30	12	¥380,000
中30	5	¥150,000	高07	56	¥2,110,000	高31	8	¥215,000
中31	7	¥260,730	高08	62	¥1,997,000	高32	9	¥200,000
中32	11	¥3,260,000	高09	67	¥2,605,000	高33	11	¥293,000
中33	18	¥490,000	高10	65	¥2,118,000	高34	6	¥115,000
中34	19	¥3,502,000	高11	46	¥1,330,000	高35	8	¥186,000
中35	23	¥773,000	高12	46	¥1,940,000	高36	7	¥185,000
中36	14	¥520,000	高13	42	¥1,370,000	高37	6	¥140,000
中37	25	¥733,000	高14	56	¥1,895,000	高38	8	¥150,000
中38	21	¥868,000	高15	33	¥940,000	高39	7	¥163,000
中39	35	¥1,443,000	高16	25	¥725,000	高40	13	¥315,000
中40	35	¥2,090,000	高17	43	¥1,220,000	高41	9	¥190,000
中41	36	¥1,085,000	高18	30	¥925,000	高42	10	¥150,000
中42	33	¥1,270,000	高19	27	¥650,000	高43	14	¥313,000
中43	39	¥1,365,000	高20	21	¥525,000	高44	12	¥330,000
中44	46	¥4,586,000	高21	25	¥743,000	高45	12	¥158,000
中45	49	¥2,248,000	高22	29	¥940,000	高46	12	¥165,000
中46	55	¥2,010,000	高23	19	¥510,000	高47	18	¥387,000
中47	56	¥2,980,000	高24	14	¥390,000	高48	12	¥293,000
高01	52	¥1,825,000	高25	13	¥312,000	高49	21	¥392,000
高02	57	¥2,315,000	高26	22	¥565,000	高50	32	¥678,000
高03	83	¥2,913,000	高27	13	¥315,000			
高04	81	¥5,000,000	高28	25	¥723,000	合計	1,985	¥77,847,730

# 私の終戦（下）

宮城県仙台第一高等学校

元校長  
仁科博之

また、朝晩送迎していたト  
ラックがガソリンがないとい  
う二三回落ちこぼつて、用

た途端一機ずつ急降下を始めた。「かっこいいなあ」と見ていると「ダダダダーン」と機銃掃射を始めた。「アメリカ

リカ機は、グラマン戦闘機だった。一般工員から三人の死傷者がでた。

ない。一刻も早く山へ戻りな  
くて気はあせるが一人で天秤を  
担いでいるのでどうにもな  
らない。途端、第二波の攻撃

長官舎へ走った。玉音放送は終わっていて聞くことはできなかつたが、日本が戦争に負つたといふことだけはわかつた。

度は駄目か、今度はやられるかと一機ごとに身を固くした。機銃掃射は一時間は続いた。あんな恐ろしい想いをしたことは、その後もない。無抵抗であつただけに、怖さが倍加

「いいか」天秤の前棒を抱ぎながら、のんびりと話しかける。彼は、飯場から弁当を運んできたので、ただ一人機銃掃射を受けていないのでその怖さはまったくわからない。こつ

官舎へ水をもらいにいった友人が、息をはずませながら戻ってきた。「日本が、負けたぞ」という。「嘘つけ、そんな馬鹿な」一斉に声が上がった。

駅で見た先発隊と、まったく同じになってしまった。二〇日間の出張中に、一日だけ休みを取れる事になっていた。その時は山形の親戚へ行き、布団の上でゆっくりと眠りたいということが、最大の欲望であった。食欲より睡眠欲の方が強い事を身をもって知つた。

○度ぐらいの角度で突っ込んでくると「パパパバッ」と赤い火花がみえ、「ダダダダーン」という銃撃音が近くの山々に響きわたり、「カン、カン、カカーン」と機械にあたって弾が跳ね返る音が響く。飛行機は、私たちの頭上をグーンと上昇して行く。えん蓋を開けて下をのぞき込む、ゴーグ

「あいにく、私がちょうど当番  
は駅前まで受け取りに来るよ  
うに、という連絡が入った。  
それで命が助かったと安心  
した時、朝食が来たから当番  
に上がり込み金からご飯を腹  
いっぱいに食べて、逃げてき  
た豪の者もいた。

かの弁当からはご飯が地面に散らばっている。こうなったから致し方がない。覚悟を決めて、駅前的小川へ戻り土にまみれたご飯を捨て、きれいな弁当から補充して、なんとか格好をつけた。しかし、二個分はどうしても足りない。「仕方がない、我慢しような。」一人はすごすごと山へ戻り、

れまくり、夜中に畠からスイカを盗んできて、床にたたきつけて食べていた。

八月十八日、仙台へ帰ることとなつた。やつと、列車の最後部のデッキに乗れた。線路がうねうねと続き、つらい、つらい作業をした楯山の駅が、次第に遠ざかっていったのを印象深く覚えている。

八月十三日、何時もの様に六時から作業を始めていた。

ルをかけたアメリカの飛行士の顔が見える程の、超低空である。逃げ出そうとすると、次の飛行機が降下体制に入っているので逃げられない。今

に当たっていた。恐る恐る山人を下って行き、牛沢勇君（故人）と三〇個の弁当を大きな箱に入れ、天秤棒で担いだ。

夕食まで、なにも食べずに過ごした。その間、機銃掃射は絶え間なく続いた。

八月十五日、駅前の広場で、昼の弁当を食べていた。駅長





## 支部北陵だより

足發會陵西北西閔

高26回卒川樺公章

本年一月十三日、関西地区の卒業生による同窓会(関西地区に居住する仙台二高(二中) 北陵会第一回総会)が、大阪

(中42回) が、関西地区同窓会のとりまとめ要請を受け、二回の設立準備会を経て実現した。本部が把握した約二

百名の関西地区の同窓生に對し、同窓会参加の御案内を送付したところ、一〇〇名の返信を頂き、そのうち四十一名の参加を頂いた。

当日は、仙台から堀田会長ご夫妻、渡邊校長、田中副会長、石井副会長と五名のご来賓の参加を頂き、盛会に行なわれた。

まず、同窓会総会は、司会の船木良保氏（高4回）の進行により、校歌齊唱からスタートした。

次に、木川田準備委員長から発会の経緯の説明があり、満場一致で会則の承認、会長及び役員の選出を行なった。

堀田同窓会長及び渡邊校長から仙台一高の近況をお話頂き、久々に母校の様子を伺うことが出来た。

次に懇親会会場に移り、最長老の曾根嘉隆氏（中37回）の乾杯で懇親会がスタートし、全員が三分程度のスピーチを行なった。短い時間ではあったが、久々に母校の活躍を酒の肴に、出席者の皆さんとの懇親を深めることが出来た。

最後に、麻喜宏雄氏（高9回）のリードによる凱歌齊唱、万歳三唱を行なった。

長をつとめる日本聖公会の社会福祉法人施設であり、場所の提供と奥様のボランティアによる会場の設定に対し、改めてお礼申し上げたい。

関西北陵会は、関西地区の居住者を中心に構成しておりますが、他地区の同窓の参加も大歓迎いたします。連絡のとれていない同窓生の方がいらっしゃるしゃれば、下記へご連絡下さいますようお願い致します。

\* 連絡先  
〒六〇一-〇〇八  
兵庫県姫路市岩端町  
川幡 公章  
(電話番号二一六一四七)  
\* 次回関西北陵会予定  
日時：十一月六日（土）  
十四時から十七時  
場所：博愛社清心館  
(十二)元今里

A group of approximately 20 men in dark suits and ties are gathered in a room with white walls and fluorescent lighting. They appear to be attending a formal meeting or presentation. In the foreground, several men are seated at a table, while others stand behind them. A man in a suit is gesturing towards the group. On the wall in the background, there are several framed portraits or certificates. The date '1999年 2月12日' is printed in yellow text in the bottom right corner of the image.



## 同期会だより

中41回卒菊池理

平成十一年四月十七日、仙台ガーデンパレスに於いて清流会第五十八回総会が行われました。年々出席者の減少していく傾向にあります。今は、名誉会長の横澤三郎先生の奥様と、長男の奥様のご出席も得て、十三名の会合になりました。盛会裡に終了することが出来ました。しかし、昨年は、船渡泰君を初めに板垣欽一郎君、野村安男君が相いで亡くなられ、また今年になって佐々木正歩君が他界され、何時も顔を出していた会員が今はなく、寂しさ一人でした。出席者級友の近況報告は、殆どの方が、同じ様な成人病と同居している体調の話や、

語り合って、本当に参考になりました。その折、会報『清流』第五十七号を配布しましたが、今回も追悼記事が主体になってしまってしまいました。



ないとは思つても、世の中、八十年台の長寿社会なので、まだ仲間入りしたばかり。気持ちだけでも、まだまだ弱くなっていられない昨今です。

仙台二中・二高北陵会

## 二名の命を救う

ユニークな同窓会活動を

づけて いる仙台二中・二高北

百二十九回上

元高校教員

元高校教員

早坂明一郎氏

「みんなの夢・こども病院」

が出席し、同窓の講師による勉学と交流が行われた。

親者に実際に発作  
が起き、二例とも  
講演を聞いていた  
ために、適切な緊  
急措置がとられ、  
命拾いをした事例  
があり、その後の  
例会で感謝の挨拶  
があつた。



## 130回例会で講演する大井龍司氏



財団法人 東北産業活性化センター  
前専務理事・参与  
高三回卒 平間久雄

現在、世界には一九一の国家があり、そのうち一八五カ国が国連に加盟している。これら世界各国の中における日本の位置づけを、最新の国際統計（一九九六年値）に基づいて見てみよう。（表参照）

第一に、『国土面積』であるが、日本の三十七万八千平方キロメートルは、世界の第六十番目で、日本より面積が小さい国は百三十一カ国もある。「狭い日本そんなに急いでどこへゆく」というキャッチフレーズがある。しかしながら、日本は本当に狭く小さな国なのだろうか。

第二に『人口』であるが、日本的人口一億二千万人は、世界では第八番目の人口大国である。日本の大國であるイギリス（五千九百万人）、フランス（五千八百万人）やイタリア（五千八百万人）など、日本より人口が多い国もある。しかし日本は本当に小さく人口一千一百万人程度である。

第三に『G N P』であるが、日本政府は、二〇〇〇年にかけては二%程度の経済成長を目指しているが、日本のG N Pの二%に相当する経済規模の国はポルトガル（世界第三十二位）、シンガポール（同三十位）、シンガポール（同三十位）などの国々である。そして、これらの諸国より経済規模の小さい国は、世界に一五〇カ国以上あることを認識することも、グローバル感覚の一つではないだろうか。

それでは、日本が小国と認めるのは的はずれである。日本人に深くあまねく浸透している「日本は小さな島国である」という常識は大きな誤りである。しかも、このように思い込みは日本をミスリードする。日本は本当に狭く小さな国なのだろうか。

# 同窓生通信

日本は「小国」なのか

日本をミスリードする常識

（五千七百万人）の二国分に相当する。さらにヨーロッパの中堅国であるオランダ（一千五百万人）、スウェーデン（九百万人）、イスラエル（七百万人）などの十ヶ国以上に相当する規模である。

第三に『G N P』（国民総生産）はどうだろうか。日本は五兆四百九十二億ドルで世界のシェア十七・四パーセントは、アメリカの二十五・二パーセントに次いで、二番目である。ちなみに一九一カ国平均のG N Pは約千五百億ドルで、日本の三十五分の一程度である。

第四に、『一人当たりのG N P』については、日本は四万九百四十ドルで、ルクセンブルグ、スイスに次いで世界第三位と、日本は豊かな経済大国である。なお、一人当たりG N Pの世界の平均が、おおよそ五千百ドルであり、日本のおよそ八分の一前後に過ぎない。

## 日本の国際比較

	日本	一国平均
面積 (千km <sup>2</sup> )	378 (60位)	698
人口 (百万人)	125 (8位)	30
G N P (百万米ドル)	51,492 (2位)	1,494
一人当たりG N P (米ドル)	40,940 (3位)	5,116 ※

(注) 1. 1996年値

2. 為替レートは97年11月末値

3. ※は世界のG N P（総額295,111億ドル）を総人口57億6,800万人で除したもの。

## 部活動の成果

## 学芸部成績(平成11年3月まで)

部名	成績	部名	成績
美術部	仙台市内高校美術展 参加11点 優秀賞 藤本	吹奏楽部	宮城県管・打楽器ソロコンテスト 部門賞 細川 全日本吹奏楽コンクール予選 仙台地区大会 銀賞 Bクラス アンサンブルコンテスト宮城県大会予選 銀賞 フルート三重奏 銀賞 木管六重奏 銀賞 金管五重奏
写真部	第5回宮城県高等学校写真展 銅賞 石森・塙田 平成11年度高文連全国大会准優勝 入選 石森 佳作 大塙		
文芸部	文芸春秋社主催「文の甲子園」 ベスト16 佐藤・及川・斎藤	囲碁部	第22回 全国高等学校囲碁選手権大会宮城県大会 団体 3位 第22回 全国高等学校総合文化祭囲碁部門 团体(宮城) 39位
物理部	①ホログラフィーワークショップ参加 4名 ②'98青少年のための科学の祭典(秋田大会)出展 7名 ③北陵祭参加…研究発表 「ホログラフィーの研究」 ④'98青少年のための科学の祭典(仙台大会)出展 5名 ⑤第51回宮城県高等学校生徒理科研究発表会 (松川他8名) 「D-ソルビットを使ったホログラムの色の変化」 優秀賞	将棋部	第34回全国高等学校将棋選手権大会予選会 団体戦 千葉・永井・高橋 第5位 個人戦 高林 第5位 竜王戦 高林 第5位 宮城県高等学校総合文化祭 仙塩地区新人大会 第1位 斎藤 第2位 佐藤 新人戦 A組 第3位 小久保・佐藤 第5位 千葉・斎藤
吹奏楽部	第7回管・打楽器ソロコンテスト東北大会 金賞 細川 金賞 遠藤 銅賞 豊川 銀賞 小幡		

## 運動部成績

大会名 部名	平成10年度		平成11年度		大会名 部名	平成10年度		平成11年度		
	新人大会	対一高定期戦	総合体育大会	新人大会		新人大会	対一高定期戦	新人大会	対一高定期戦	
陸上競技部	110MH 3位(五十嵐) 400MH 2位(五十嵐) 1500M 5位(鶴山) 5000M 3位(鶴山) 110MH 4位(土屋)	-	110MH 2位(五十嵐) 400MH 6位(土屋) 1500M 5位(五十嵐) 1500M 6位(鶴山) 以上東北大会出場	水泳部			競泳 100M平 7位 山田 水球 仙台二 3-24 齋田 東北大会予選 仙台二 1-20 齋田 順決リーグ 仙台二 1-16 黒沢尻工 仙台二 5-11 山形東			
硬式野球部	仙塩地区秋季リーグ戦 Cブロック 1勝2敗3位 仙台二 6-4 榛ヶ岡 仙台二 5-12 黒川 仙台二 4-5 仙台三	負	仙塩地区春季リーグ戦 Eブロック 2勝2敗2位 仙台二 1-9 仙台商 仙台二 8-7 泉松陵 仙台二 5-9 泉南 仙台二 6-5 泉鶴山 2位トーナメント戦 仙台二 10-0 東北工大 仙台二 8-9 仙台東 仙台二 4-10 榛ヶ岡 選手権大会宮城大会 2回戦 仙台二 0-5 仙台三	ヨット部	天候不良のため中止	-	ソロ競 11位 近藤・畠田 12位 斎代・武田 2戻 東北大会出場			
軟式野球部	1回戦 仙台二 7-2 石巻商 2回戦 仙台二 0-1 東北学院	勝	1回戦 仙台二 6-2 石巻商 2回戦 仙台二 4-2 塙釜 準決勝 仙台二 2-9 仙台商	空手部		-				
バレーボール部	1回戦 仙台二 2-0 柴田農 2回戦 仙台二 2-0 中新田 3回戦 仙台二 0-2 東北	勝	1回戦 仙台二 2-0 加美農 2回戦 仙台二 0-2 利府	山岳部		-				
バスケットボール部	2回戦 仙台二 59-54 石巻商 3回戦 仙台二 88-44 石巻西 準決勝 仙台二 対決勝(ベスト8)	負	1回戦不戦勝 2回戦 仙台二 101-57 泉松陵 3回戦 仙台二 69-88 利府 (ベスト16)	スキー部	スラローム 9名出場 ジャイアントスラローム 9名出場	-	団体予選リーグ 仙台二 4-1 岩出山 仙台二 5-0 加美農 団体次席トーナメント 1回戦 仙台二 2-2 仙台一 (本数負け) 個人 佐藤 5回戦ベスト16 大友 4回戦進出			
サッカー部	1回戦 仙台二 2-0 佐沼 2回戦 仙台二 2-1 石巻商 準決勝 仙台二 0-3 東北 (ベスト8)	-	1回戦 仙台二 5-0 佐沼 2回戦 仙台二 0-1 吉川	剣道部	団体 仙台二 2-0 加美農 仙台二 2-0 利府 決勝トーナメント 1回戦 仙台二 1-4 仙台東 個人 佐藤 2回戦進出 米澤 3回戦進出	-	団体決勝トーナメント 1回戦 仙台二 0-4 米山 個人 3回戦進出 及川			
ラグビー部	Cブロック(7人制) 仙台二 38-5 加美農 仙台二 40-0 泉 仙台二 33-0 仙台 仙台二 31-0 白石 (Cブロックリーグ優勝)	負	Bブロック(12人制) 予選 仙台二 5-5 東北 仙台二 5-5 仙台 3位決定戦 仙台二 5-7 気仙沼	柔道部	団体 仙台二 2-3 古川工 仙台二 1-4 仙台三 仙塩個人 66kg級 相澤 単板筋 73kg級 武田 3位 県個人 66kg級 相澤 ベスト8	負	団体決勝トーナメント 1回戦 仙台二 0-4 米山 個人 3回戦進出 及川			
ハンドボール部	1回戦 仙台二 11-16 泉松陵	-	1回戦 仙台二 6-17 筑館	弓道部	仙塩地区秋季大会 団体D 優勝 (大津・平野・井ヶ田・佐藤・大谷) 個人 5位 大谷		団体 優勝 射道優秀賞 インタハイ・東北大会出場 個人 喜代 1位			
卓球部	団体 1回戦 仙台二 3-0 黒川 2回戦 仙台二 0-3 黒川 個人 1回戦 横山 横山 0-2 三浦(市原町) (仙台二)	-	団体 1回戦 仙台二 3-2 石巻商 2回戦 仙台二 1-3 東北	ソーフテニス部	団体 1回戦 仙台二 2-1 宮城工 2回戦 仙台二 2-0 石巻商 3回戦 仙台二 1-2 仙台商 (ベスト8)	-	団体 優勝 射道優秀賞 インタハイ・東北大会出場 個人 佐藤 1位			
バドミントン部	団体 2回戦進出 個人 2回戦進出 佐々木・佐藤	-	団体 2回戦 仙台二 3-1 角田 3回戦 仙台二 3-1 背景 準々決勝 仙台二 1-3 東北 個人 佐々木 4回戦(ベスト32)					団体 優勝 射道優秀賞 インタハイ 団体 決勝トーナメント2回戦 個人 ベスト9 土屋		
硬式テニス部	団体 1回戦 仙台二 4-1 東北学院 2回戦 仙台二 3-2 仙台三 準々決勝 仙台二 3-2 榛ヶ岡 決勝リーグ 仙台二 2-3 青葉 仙台二 4-1 仙台(団体2位) 東北選抜大会出場 個人 単位5位 木川 3位 木川・大場		団体 2回戦 仙台二 2-0 泉鶴山 準々決勝 仙台二 2-0 東北 準決勝 仙台二 2-1 東北 決勝 仙台二 2-0 背景 準々決勝 仙台二 星山 複数 優勝 木川・佐藤 ベスト8 星山・大場 東北大会 団体3位 インタハイ出場				団体 1回戦 仙台二 2-1 東松陵 2回戦 仙台二 0-2 上沼 個人 4回戦進出 笹本・斎藤 4回戦進出 吉光・池			

## 同窓会報

寄 贈 文 書 (同窓生より)

仙台二高同窓ならではのユニークな親睦・研修の場、  
仙台二中・二高北陵会は発足以来十八年、本年度は二十  
四ページに掲載されているような活動を行いました。入  
会資格は同窓会員、年会費、例会費各三〇〇〇円。  
問い合わせ事務局は

FAX ○一二一六一一一四一八五  
(株)紅谷 高橋正道 まで

## 北陵会より

中34回	藤原佐一郎	殿	他8冊
11年9月20日現在			
歌仙・両吟	橋本 保雄 殿	高3回	橋本 保雄 殿
「続楽未史12巻」	井上 功 殿	高10回	井上 功 殿
「続続」	大阪 欣哉 殿	高10回	大阪 欣哉 殿
「聴覚と言語の世界」	山田 俊雄 殿	中40回	山田 俊雄 殿

中45回	野村 正殿	「我が人生論」	全国版	
中42回	増本 剛殿	「我が人生論」	全国版	
高7回	堀田 寿一 殿	「クレーム対応術」	高9回	渋谷 寿 殿
高10回	堀田 寿一 殿	「超伝導はおもしろい」	中28回	渋谷 寿 殿
中34回	藤原佐一郎 殿	「基礎電磁気学」	高36回	小山 朗 殿

「旧制高等学校の青春」	新臺 弘明 殿	高18回	新臺 弘明 殿	「線形システム論」
「北の国から」の父と子	加藤 理 殿	高31回	加藤 理 殿	「言葉の散策」
「詞苑問歩」(上下二冊)	山田 俊雄 殿	中40回	山田 俊雄 殿	「詞苑問歩」(上下二冊)
「北の国から」の父と子	山田 俊雄 殿	高36回	小山 朗 殿	「北の国から」の父と子
「詞苑問歩」(上下二冊)	山田 俊雄 殿	中40回	山田 俊雄 殿	「詞苑問歩」(上下二冊)

「沢村貞子 - 波瀬の生涯」  
「超伝導はおもしろい」  
「基礎電磁気学」  
「旧制高等学校の青春」  
「北の国から」の父と子

## 平成11年度・平成10年度の主な大学の合格者数

大 学 名 (学 部)	11年3月			10年3月			大 学 名 (学 部)	11年3月			10年3月			大 学 名 (学 部)	11年3月			大 学 名 (学 部)	11年3月				
	現役	浪人	合計	現役	浪人	合計		現役	浪人	合計	現役	浪人	合計		現役	浪人	合計		現役	浪人	合計		
國 立 大 学	立			立			秋 田 県 立	1	2	3	0	0	0	多摩 美術	0	0	0	0	1	1	1		
東 北	文 教	2	3	5	8	10	津	0	0	0	1	0	1	大東 文化	0	2	2	0	0	0	0		
宮 城	教 育	7	6	13	5	4	福 島 県 医 療	0	1	1	0	0	0	中京 大学	4	22	26	4	20	24	24		
北 海 道	教 育	0	1	1	0	1	高 東 県 総 統	1	2	3	1	0	1	帝京 大学	0	1	1	0	0	0	0		
青 岩	前 哲	0	0	0	1	1	京 都 県 立	4	4	8	3	0	3	東京 大学	1	6	7	1	1	2	2		
弘 前	前 哲	1	0	1	0	3	都 都 立	0	1	1	0	0	0	東京 大学	0	1	1	0	0	0	0		
岩 手	手 工	5	4	9	3	5	都 都 立	2	0	2	0	0	0	東京 大学	1	0	1	1	1	2	2		
秋 田	工 科	1	0	1	1	3	都 都 立	0	2	2	0	1	1	東京 大学	0	0	0	1	0	1	1		
山 形	形 事	14	7	21	5	2	高 球 県 市 府	1	0	1	0	0	0	東京 大学	0	0	0	1	1	1	1		
島 岡	島 岡	1	6	7	2	1	高 球 県 市 外	1	0	1	0	0	0	東京 大学	0	1	1	2	0	2	2		
國 會 情 報	國 會 情 報	0	0	0	0	1	高 球 県 医 療	0	0	0	1	1	1	東京 大学	6	6	1	1	1	2	2		
東 北 大 学 小 学	東 北 大 学 小 学	50	48	98	51	51	102	公 立 大 学	17	17	34	13	9	22	東京 大学	0	2	2	0	3	3	3	
宮 城 教 育	宮 城 教 育	2	3	5	8	2	10	私 立 大 学	東 北 学 院	14	23	37	12	22	34	東京 大学	5	21	26	8	37	45	45
北 海 道 教 育	北 海 道 教 育	7	6	13	5	4	東 北 工 学 院	2	1	3	0	0	0	東京 大学	0	2	2	0	0	0	0		
青 岩 哲	青 岩 哲	0	1	1	0	1	東 北 福 帯	0	0	0	0	1	1	東京 大学	0	3	3	1	3	4	4		
弘 前 哲	弘 前 哲	1	0	1	0	3	東 北 地 球 科 学	0	4	4	2	3	5	東京 大学	6	22	28	1	14	15	15		
岩 手 手 工	岩 手 手 工	5	4	9	3	5	東 北 生 活 文 化 学	0	1	1	0	0	0	東京 大学	0	0	0	0	1	1	1		
東 京 外 外	東 京 外 外	6	1	7	9	1	東 北 文 化 学	1	0	1	0	0	0	東京 大学	0	1	1	0	1	2	2		
東 京 外 外	東 京 外 外	1	1	2	0	1	東 北 美 術 工 科	0	1	1	0	0	0	東京 大学	0	8	8	0	6	6	6		
東 京 外 外	東 京 外 外	1	1	2	3	3	東 北 美 術 工 科	0	1	1	0	0	0	東京 大学	7	24	31	9	24	33	33		
東 京 外 外	東 京 外 外	2	1	3	0	4	東 北 美 術 工 科	0	0	0	0	1	1	東京 大学	0	5	5	0	3	3	3		
東 京 外 外	東 京 外 外	1	1	2	3	3	東 北 美 術 工 科	0	1	1	0	0	0	東京 大学	0	1	1	0	0	0	0		
東 京 外 外	東 京 外 外	3	2	5	9	5	東 北 美 術 工 科	0	1	1	0	0	0	東京 大学	0	1	1	0	0	0	0		
東 京 外 外	東 京 外 外	3	2	5	4	9	東 北 美 術 工 科	0	1	1	0	0	0	東京 大学	0	0	0	1	1	1	1		
東 京 外 外	東 京 外 外	3	2	5	4	9	東 北 美 術 工 科	0	1	1	0	0	0	東京 大学	0	0	0	1	1	1	1		
東 京 外 外	東 京 外 外	1	1	2	0	1	東 北 美 術 工 科	0	1	1	0	0	0	東京 大学	0	0	0	1	1	1	1		
東 京 外 外	東 京 外 外	1	1	2	0	1	東 北 美 術 工 科	0	1	1	0	0	0	東京 大学	0	0	0	1	1	1	1		
東 京 外 外	東 京 外 外	1	1	2	0	1	東 北 美 術 工 科	0	1	1	0	0	0	東京 大学	0	0	0	1	1	1	1		
東 京 外 外	東 京 外 外	1	1	2	0	1	東 北 美 術 工 科	0	1	1	0	0	0	東京 大学	0	0	0	1	1	1	1		
東 京 外 外	東 京 外 外	1	1	2	0	1	東 北 美 術 工 科	0	1	1	0	0	0	東京 大学	0	0	0	1	1	1	1		
東 京 外 外	東 京 外 外	1	1	2	0	1	東 北 美 術 工 科	0	1	1	0	0	0	東京 大学	0	0	0	1	1	1	1		
東 京 外 外	東 京 外 外	1	1	2	0	1	東 北 美 術 工 科	0	1	1	0	0	0	東京 大学	0	0	0	1	1	1	1		
東 京 外 外	東 京 外 外	1	1	2	0	1	東 北 美 術 工 科	0	1	1	0	0	0	東京 大学	0	0	0	1	1	1	1		
東 京 外 外	東 京 外 外	1	1	2	0	1	東 北 美 術 工 科	0	1	1	0	0	0	東京 大学	0	0	0	1	1	1	1		
東 京 外 外	東 京 外 外	1	1	2	0	1	東 北 美 術 工 科	0	1	1	0	0	0	東京 大学	0	0	0	1	1	1	1		
東 京 外 外	東 京 外 外	1	1	2	0	1	東 北 美 術 工 科	0	1	1	0	0	0	東京 大学	0	0	0	1	1	1	1		
東 京 外 外	東 京 外 外	1	1	2	0	1	東 北 美 術 工 科	0	1	1	0	0	0	東京 大学	0	0	0	1	1	1	1		
東 京 外 外	東 京 外 外	1	1	2	0	1	東 北 美 術 工 科	0	1	1	0	0	0	東京 大学	0	0	0	1	1	1	1		
東 京 外 外	東 京 外 外	1	1	2	0	1	東 北 美 術 工 科	0	1	1	0	0	0	東京 大学	0	0	0	1	1	1	1		
東 京 外 外	東 京 外 外	1	1	2	0	1	東 北 美 術 工 科	0	1	1	0	0	0	東京 大学	0	0	0	1	1	1	1		
東 京 外 外	東 京 外 外	1	1	2	0	1	東 北 美 術 工 科	0	1	1	0	0	0	東京 大学	0	0	0	1	1	1	1		
東 京 外 外	東 京 外 外	1	1	2	0	1	東 北 美 術 工 科	0	1	1	0	0	0	東京 大学	0	0	0	1	1	1	1		
東 京 外 外	東 京 外 外	1	1	2	0	1	東 北 美 術 工 科	0	1	1	0	0	0	東京 大学	0	0	0	1	1	1	1		
東 京 外 外	東 京 外 外	1	1	2	0	1	東 北 美 術 工 科	0	1	1	0	0	0	東京 大学	0	0	0	1	1	1	1		
東 京 外 外	東 京 外 外	1	1	2	0	1	東 北 美 術 工 科	0	1	1	0	0	0	東京 大学	0	0	0	1	1	1	1		
東 京 外 外	東 京 外 外	1	1	2	0	1	東 北 美 術 工 科	0	1	1	0	0	0	東京 大学	0	0	0	1	1	1	1		
東 京 外 外	東 京 外 外	1	1	2	0	1	東 北 美 術 工 科	0	1	1	0	0	0	東京 大学	0	0	0	1	1	1	1		
東 京 外 外	東 京 外 外	1	1	2	0	1	東 北 美 術 工 科	0	1	1	0	0	0	東京 大学	0	0	0	1	1	1	1		
東 京 外 外	東 京 外 外	1	1	2	0	1	東 北 美 術 工 科	0	1	1	0	0	0	東京 大学	0	0	0	1	1	1	1		
東 京 外 外	東 京 外 外	1	1	2	0	1	東 北 美 術 工 科	0	1	1	0	0	0	東京 大学	0	0	0	1	1	1	1		
東 京 外 外	東 京 外 外	1	1	2	0	1	東 北 美 術 工 科	0	1	1	0	0	0	東京 大学	0	0	0	1	1	1	1		
東 京 外 外	東 京 外 外	1	1	2	0	1	東 北 美 術 工 科	0	1	1	0	0	0	東京 大学	0	0	0	1	1	1	1		
東 京 外 外	東 京 外 外	1	1	2	0	1	東 北 美 術 工 科	0	1	1	0	0	0	東京 大学	0	0	0	1	1	1	1		
東 京 外 外	東 京 外 外	1	1	2	0	1	東 北 美 術 工 科	0	1	1	0	0	0	東京 大学	0	0	0	1	1	1	1		
東 京 外 外	東 京 外 外	1	1	2	0	1	東 北 美 術 工 科	0	1	1	0	0	0	東京 大学	0	0	0	1	1	1	1		
東 京 外 外	東 京 外 外	1	1	2	0	1	東 北 美 術 工 科	0	1	1	0	0	0	東京 大学	0	0	0	1	1	1	1		
東 京 外 外	東 京 外 外	1	1	2																			

